

(編入学)

## 令和2年度 入学試験問題

### 小論文

( 農学生命科学部 国際園芸農学科 )

#### 【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのます目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題

図1及び表1に示す指標を参考に、日本の果実市場の特徴についてまとめた上で、今後日本の果実産地がとるべき方策について、自らの考えも織り交ぜながら述べなさい（800字以内）。

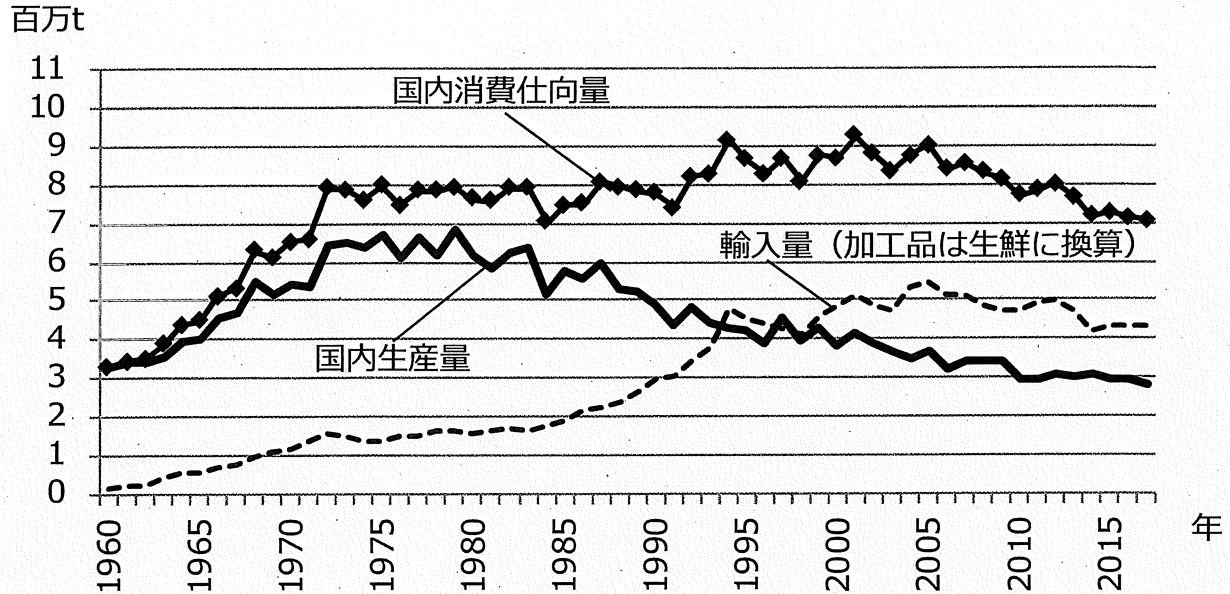


図1：日本における果実の主要指標

資料：農林水産省『食料需給表』各年版から作成

注：国内消費仕向量 = 国内生産量 + 輸入量 - 輸出量 + 在庫の増減量

表1：日本の年齢階級別一人あたり年間生鮮果実購入数量

	単位：Kg			
	1980年	1990年	2000年	2010年
29歳以下	29.9	14.7	10.8	8.7
30～39才	36.9	22.3	14.6	10.5
40～49才	41.3	30.6	21.7	13.9
50～59才	48.8	39.3	34.8	24.8
60才以上	51.1	50.7	—	—
60～69才	—	—	49.8	42.6
70才以上	—	—	58.2	51.2
平均	41.6	33.8	31.7	27.7

資料：総務省『家計調査年報』各年版から作成